



第376号 **公益社団法人  
徳島県環境技術センター**

発行 徳島市津田海岸町2-33  
電話 (088) 636-1234(代)  
発行責任者 松原 義輔  
編集者 原岡 艶甲

## 廃棄物連絡協議会 維持管理一括契約を説明 開催

7月12日(火)は阿南市の南部総合県民局、22日(金)は美馬市の西部総合県民局で、それぞれ午後2時から、廃棄物連絡協議会が開催された。

出席者は、県のゴミゼロ推進室及び県民局とそれぞれの管内市町村担当者で、県環境技術センターからは、川人次長、藍原課長、宮内課長が出席した。

前半は、3月11日の東日本大震災を受け、県ゴミゼロ推進室池上係長が①徳島県の災害廃棄物処理計画について②市町村災害廃棄物処理計画の策定状況について説明、後半は浄化槽についての議題となり、県ゴミゼロ推進室脇田係長は、浄化槽市町村整備推進事業について、そのメリットや市町村の負担(補助額)等を、センター川人次長が、浄化槽の維持管理一括契約について説明・報告した。徳島県は他県に比べ維持管理率が低く、これを指導するための法定検査も45.7%とまだまだ十分に機能していない。この状況を改善するためには、民の保守点検・清掃・法定検査と、官の県・市町村との連携推進が必要であり、その方策の一つが協議会方式による維持管理一括契約である。これにより設置者の利便性の向上・負担の軽減が図られ、維持管理の適正化が大幅に改善されると考えていると説明し、今後各市町村を順次説明に回ることを了承いただいた。



7/22  
西部総合県民局

7/12  
南部総合県民局



## 那賀町一括契約協議会 契約実績や23年度計画を承認 総会開催

6月28日(火)午後2時から、阿南市の南部総合県民局で、協議会会員と県、県民局、那賀町など行政関係者など20名が出席し、那賀町浄化槽らくらくあんしん協議会の第1回通常総会が開催された。

田中副会長が開会を宣言したあと、森会長が開会の挨拶をし、続いて来賓を代表して、県ゴミゼロ推進室の川端室長が祝辞を述べた。

第一号議案、平成22年度事業報告、同決算報告を事務局の川人氏、原岡氏がそれぞれ行った。監事の吉岡氏が監査報告を行い、異議無く承認された。第二号議案の平成23年度事業計画案、同予算案についても承認され、23年度は合併浄化槽については75%の契約率、単独浄化槽は50%の契約を目指すこととなった。

その後、会員と行政との間で、質疑応答が行われ、大坂氏から、『我々業界だけでは限界がある。設立時には県の全面的なバックアップを約束していただいている。加入促進のために、是非ゴミゼロ室に協力を頂きたい』と質問、これに対し川川端室長は『那賀町は当県で初めて当該制度が発足した場所であり、これを全県に波及させるためには、ここでの実績が鍵を握っている。時間的な余裕があるときは、現場訪問も含め出来るだけ協力させていただきたい』と答えた。

最後に、センター松原会長が『我々業界だけでも、あるいは行政だけでも適正な維持管理は望めない。やはりみんなが知恵と汗を出し合い、一体となって推進し初めて大きな成果が得られると思っている。そういう意味では、この那賀町が試金石となるので今後もご協力をお願いします』と挨拶し、総会を閉じた。



# 県立富岡東中 ・高等学校で 環境学習開催

県環境技術センターは、7月8日、県立富岡東中学校において環境学習を開催した。

将来を担う子供たちに、浄化槽を取り上げ教える機会が少ないなか、今年度から参加した「南から届ける環づくり会議」の事業活動の中で今回の事業が実現した。

環境学習を行った徳島県立富岡東中学校は、県南唯一の中高一貫校であり、定員が1学年80名である。

今回は、1年生の2クラスの80名を対象に、「知ろう・学ぼう・浄化槽」のテーマで、教室での座学形式での講習と、実験室での実習・実験を、センター職員が講師を務め、それぞれ約2時間の学習会を実施した。

座学講座では、貴重な資源である水の大切さ、汚水を処理するため働いている浄化槽の基本知識について授業を行い、実習・実験講座では、生徒たちが

家から持ち寄った、家庭排水がどれだけ汚れているかをCODバックテストと透視度を測定し実験を行った。

また、ビデオ学習により、富岡東中学校に設置されている、実際の浄化槽（流量調整接触ばっき方式380人槽）の映像を見ながら、汚水がどのようにして処理され、キレイになっていくか、仕組みや汚水を処理するために働いている微生物も動く映像から学んだ。

この学習を通じて子供たちは、水環境を汚染している原因が家庭排水にあること、またそれを防ぐための取り組み等について学び、授業の中で、CODバックテストや透視度を検査して感じたことを発表してくれた。（下記参照）

限りある水の大切さ、またそれを守るためには汚さないよう生活のなかで少しずつ実践できることを知り、実り多い環境学習会となった。

センターでは今後も、子供たちを対象とした環境学習に積極的に取り組み、将来の水環境保全のための啓発を行っていく予定。

## ＜生徒たちが感じ疑問に思ったこと＞

- 薄めたものでも汚れはすごく大きい。
- 色の濃い物（醤油など）は薄めても透視度が悪い。
- 透視度が良くてもCODの結果は悪かった。



## 環境月間のクイズ

### 正解者決まる

県環境技術センターは、7月7日(木)に、「環境の日クイズ」の抽選会を行った。

これは、去る6月5日の環境の日に、みずすまし隊のメンバーが徳島駅前前でパンフレットと一緒に配布した「環境の日クイズ」に応募していただいたもので、

配布数1,000部うち、6月30日の〆切までに101名の方から回答（はがき）が送られてきた。

そのうち、正解者は90名であったため、正解者のはがきを抽選箱に入れ、みずすまし隊のメンバーが当選者20名を厳正に選んだ。

なお、当選者の方には、500円分のクオカードをプレゼントした。





## 指定採水員登録の更新講習会開催

県環境技術センターは、6月17日(金)午後2時より三好市池田町の池田総合体育館第一会議室で平成23年度の指定採水員の登録更新についての講習会を開催した。



講習会には、昨年登録した三好市担当の指定採水員6名(管理士)が受講した。

まず、講義に入る前に当センターの竹内検査部長が開講挨拶をした後、西岡検査1課課長補佐が講師として、昨年度の7条および11条検査の結果、採水員による結果集計、クロスチェックと2次検査の結果と解説および今後の注意点についての講義を行った。

参加した指定採水員6名は全員更新が完了した。

また、業務優良採水員には、登録有効期限を2年間延長することについて説明を行い、登録更新された採水員のうち2名が優良採水員として2年間の延長を行った。

講義終了後は、身分証明書用の写真撮影や検体ビンの引き渡しを行い散会した。

## 第1回保守点検・清掃委員会開催

平成23年度第1回目の保守点検・清掃委員会が6月17日(金)午後2時、県環境技術センター4階会議室で開催された。



まず、中川委員長が開会の挨拶をした後、事務局の川人次長が「飯泉知事のマニフェスト、県新行動計画案」について、飯泉知事が23年4月に行われた県知事選挙で「浄化槽一括契約制度導入の加速、平成26年度までに10市町村」とマニフェストの中に掲げている。「センターとしても維持管理徹底のため推進していきたい。」と説明し、設置時から継続する維持管理一括契約システムを提案した。

委員からは「一括契約を行っている茨城県や熊本県

等、他県の協会への業者加入率は？」「処理場への汚泥搬入は、全量受け入れ可能な状況か？」等検討すべき内容があるとの意見があり、次回の委員会までに事務局が他県の状況を調査し、資料を提出した上で審議することとなった。

次回以降も【一括契約システム】について、集中審議するため、2ヶ月に1回程度、委員会を開催することになった。

審議終了後、かねてから、その導入効果などを研究しているブロワーの警報機について、メーカーから説明を受けた。

今回、委員に紹介されたのはブロワーメーカー「メド産業」の警報機であった。

担当者から警報機内蔵型のブロワについての説明を受けたあと、参加した委員からは、価格や他メーカーとの対応等についての質問があった。

## 水質計量便り

暑い日が続きますね。皆さん熱中症に気をつけていますか？

節電をしながら、上手に夏を乗り越えましょう(^▽^)。

今年は節電もかねて、我が家でもゴーヤを使って、緑のカーテン作りにチャレンジしてみました。

プランターに3株植えてみたところ、想像以上に、立派な緑のカーテンになりましたよ(^▽^)。

確かに直射日光が直接部屋に入らないこともあり、例年より涼しく感じられます。

ゴーヤも収穫できました。まだまだ収穫できそうです。

そしてゴーヤは健康にも良いそうです。

ゴーヤ特有の苦味、これはモルデシン、チャランチンという成分で血糖値を下げる効果があるそうです。さらに植物インスリンが豊富に含まれ血糖値を安定させてくれます。

糖尿病に有効なんですネ。

これら成分はさらにコレステロールも下げる効果もあるようです。

その他、ビタミンCがゴーヤ1本当たり、レモン約2個分に相当する量が含まれていて、疲労を回復してくれるそうです。そのほかにも、βカロチンやビタミンB1、鉄分、カリウムなどミネラルも豊富に含み、夏ばて防止にいいそうです。

意外とお手軽に育つし、節電効果だけでなく健康面でも優れているゴーヤ、おすすめです。

皆さんも一度チャレンジしてみてもどうですか？

by koizumi

会員有志  
5つの世界遺産を巡る  
北京の旅

6月23日、早朝4時、バスにて一路関空へ。総勢13名の中国の首都北京への旅(2泊3日)が始まった。

時差は1時間、12時に北京へ到着。添乗員は、中国人の張春我さんがプラカードで出迎えてくれた。

まずは天壇公園、門を入ると中央の一段高いところに円形のお堂があり、日本とは又違った造りの建物で桁外れの広さである。広い道のいたるところで売り子がいて、おみやげを売りつけようとする。

夕食後は、中国雑伎団のショーを見学。すごい雨降りとなったが無事濡れることなくホテルへ着いた。

2日目は、万里の長城八達嶺に登るが、女坂といってもかなりきつい登りである。それにもまして人・人・人もすご〜い人である。

それから、明の十三陵を見学。皇帝は即位すると自分のための墓を建造したそうだ。次は、あの悪名高い西太后が別荘として創った、頤和園(いわえん)。人工の池、石の舟、又1kmもある回廊、当時の権力の象徴である。2日目も昨日と同じホテルに宿泊。最後の日は、故宮博物院、紫禁城、テレビでおなじみの天安門広場へ。天安門広場は十万人が集えるという。目の前には大きな毛沢東の



阿南の裕次郎?

は、故宮博物院、紫禁城、テレビでおなじみの天安門広場へ。天安門広場は十万人が集えるという。目の前には大きな毛沢東の



絵が飾ってある。行列ができているので尋ねると、毛沢東の棺が見学できるらしい。

次は、いくつもの建物があり、目の前にひときわ大きな建物が見えた。映画で見た紫禁城だ。ラストエンペラーのシーンを思い出す。日本の城と違い同じような建物がいくつもある。中国では、9という数字が喜ばれ、建物も9,999棟あるらしい。想像を絶する建物、広さ、大きさは桁外れだが、紫禁城の宝物(展示品)は蒋介石により台湾に移されている。

今回の旅で感じたことは、やはり中国の広さである。北京の広さは四国ぐらいだがそこに2,000万の人が住んでいる。

今回の旅も、全員事故もなく張さんという素敵な人の案内で心に残る素晴らしい旅だった。

昨年、台湾に行った人は、今回も全員が参加し、「今回の旅行は？」と言う。今から心が馳せる。

常任理事 大坂 利弘

経営事項審査の加点等について

平成23年度より、建設業法第27条23に規定する経営事項審査に於いて、下記のとおり防災協定を交わしている団体の会員は「社会性の評価基準」で15点が加点されることになりましたので証明書の発行をご希望される方は、事務局までご連絡下さい。

<経営事項審査>

社会性の評価基準(加点15点)

平成23年度より

『大規模災害時における浄化槽の復旧支援活動等に関する協定』について加点の対象とした。(提出資料)

- ・防災協定書の写し
- ・所属している団体の代表者が発行している証明書(原本提示・写しを提出)

事務局だより

法定検査のお知らせ

次の日程で法定検査を実施します。

○11条検査

日程1:平成23年8月29日~9月2日

地区:海部郡全域

日程2:平成23年9月5日~9月22日

地区:阿波市・吉野川市・美馬市・つるぎ町・三好市・東みよし町

○7条検査

日程1:平成23年8月29日~9月2日

地区:海部郡全域・阿波市・吉野川市

日程2:平成23年9月5日~9月9日

地区:阿南市・那賀町

日程3:平成23年9月12日~9月22日

地区:鳴門市・松茂町・板野町



総会の日程

公益社団法人へ移行したことにより、下記の日程で総会の開催を予定しておりますのでよろしくお祈りします。

開催日:平成23年9月16日(金) 午後1時30分

会場:徳島グランヴィリオホテル1F